

## 教育プログラムの開発・実践

### ◆研究者キャリア実体験プログラム(研究者CP)

学生に、「もし研究者になったら」という設定で、研究計画の申請、計画の審査、研究の実施、成果報告、成果の審査の過程を体験させる。具体的には、次のような手順で行う。

1. 学生が個人またはグループで、研究のレベルに応じた4段階(S, A, B, 奨励)の募集の内のどれかに研究計画書を書いて応募する。研究期間は学期単位、1年(3学期間)未満とする。この時アドバイザーとなる教員の希望も書かせる。
2. 審査委員会が応募書類の審査を行う。審査委員会はアドミッションセンター教員と理工農系専門委員、大学近隣の研究所や企業からの外部審査員で構成する。
3. 採択された研究をアドバイザー教員のアドバイスを受けながら学生が実施する。アドバイザー教員はできるだけ学生の自主性を伸ばすよう、あたたかく見守る。
4. 研究終了後、学生は研究成果を発表、報告する。
5. 研究成果をあげた学生は、さらにレベルの高い段階の募集に応募できる。
6. 1～5の繰り返しを行って、学生に研究の楽しさと研究者の厳しさを体験させ、意欲と能力の発展をめざす。